

2023年度第1回日本心血管脳卒中学会 定期運営委員会 議事録

1. 日時 2023年4月11日(火) 18:00-19:00
2. 場所 国立循環器病研究センター/WEB meeting (暗号化 ZOOM 使用)
3. 出席者(50音順)
運営委員長：小笠原 邦昭
運営委員：飯原 弘二、伊苺 裕二、池田 隆徳、岡田 靖、國原 孝、佐田 政隆、豊田 一則、宮本 享、森野 禎浩
監事：木村 和美、平野 照之
前代会長・今会長・会長予定者：
佐田 政隆(第9回会長)、國原 孝(第10回会長)、藤本 茂(第11回会長)、中野由紀子(第12回会長)
オブザーバー：吉田和道(第13回会長内定者)
庶務会計幹事：豊田 一則
事務局：坂井 信幸・徳永 梓・井上 学 欠席：なし

4. 議題(敬称略)

議長(小笠原 邦昭)は、出席者を確認し、議事録署名人に藤本 茂、中野由紀子の兩名を指名した。

(1) 開会あいさつ(小笠原 邦昭)

(2) 2022年度決算案について(豊田 一則、資料1)

会費収入を説明し、2022年度決算案(資料1)について、最終版を確定したのちに平野 照之、木村 和美両監事の承認を得た上で決算を総会で報告することを提示し、運営委員会の承認を得た。

(3) 2023年度予算案について(豊田 一則、資料2)

2022年度決算に基づいて作成した2023年度予算案(資料2)を説明し、運営委員会の承認を得た。

(4) 第9回学術集会報告(佐田 政隆、資料3)

第9回学術集会では167名の参加者があり、学会より200万円の補助金を得て運営し、収支決算につき税理士による監査を受けたことが報告された。

(5) 第13回会長について(豊田 一則)

吉田 和道先生(滋賀医科大学脳神経外科学講座)を推すことを提案し、運営委員会の承認を得た。

(6) 役員改選に関して(豊田 一則、資料4)

次期運営委員・名誉会員の提案があり、運営委員会の承認を得た。

(7) 学術評議員 推薦が2名あり、運営委員会の承認を得た。(豊田 一則、資料5)

(8) 自然退会する評議員が2名；(15)にて検討、自主退会する会員が5名いることを報告し、運営委員会の承認を得た。

(9) 第10回学術集会について(國原 孝、会長、資料6)

テーマを「パラダイムシフトを迎える心脳血管治療」として、4年ぶりの現地開催メインになり、新浦元投手、関連学会とのジョイントシンポ、国際化としてCSIとのジョイントシンポを企画したことの報告があった。

(10) 第11回学術集会について(藤本 茂、次期会長、資料7)

テーマを「循環器病対策推進のための脳心臓クロストーク」として、パシフィコ横浜ノースにてSTROKE2024の前日に開催することが報告された。脳卒中学会・循環器学会の参加者はCVSS2024の参加費が割引になることも検討していることが報告された。

(11) 第12回学術集会について(中野由紀子、次々期会長、資料8)

2025年の4月12日(土)もしくは4月26日(土)に広島コンベンションセンターで「歴史を学び、未来を創る、心血管と脳卒中の最新トピックス」として予定していることが報告された。

(12) 第13回学術集会会長の吉田和道先生より挨拶があった。

(13) 会則改定について(豊田 一則、事務局、資料4、9-10)

会長・会長予定者は主催する学術集会の終了日まで運営委員を務めること、の提案があり、運営委員会の承認を得た。

(14) 本会の運営に関する意見交換

JSNETより前身の日本頸部脳血管治療学会時代の継承学会として、CVSSが頸動脈ステント留置術実

施基準関連学会として登録されており、オプティワイヤー・プロテクションシステム実施医のトレーニング方法(トレーニングサイトによる)についてコンセンサスを得るように通達があり、運営委員会の承認を得た。

(15) その他事務局より

会費滞納の評議員が 2 名おり、リマインドに応じない場合には会則に則り退会とすることを提案し、運営委員会の承認を得た。

以上この議事録が正確であることを証します。

2023 年 4 月 11 日

議長： 小笠原 邦昭 署名 小笠原邦昭
小笠原邦昭 (2023年5月17日 17:39 GMT+9)

議事録署名人： 藤本 茂 署名 藤本 茂
藤本 茂 (2023年5月16日 17:46 GMT+9)

中野由紀子 署名 中野 由紀子
中野 由紀子 (2023年4月26日 20:58 GMT+9)